財務部

【特別会計公債管理費】

その他事業

令和６年度　事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計　公債管理	款	1	項	1	目	1	説明資料	3	項目番号	1

事務事業名	元金	所管部課名	財務部 財務課

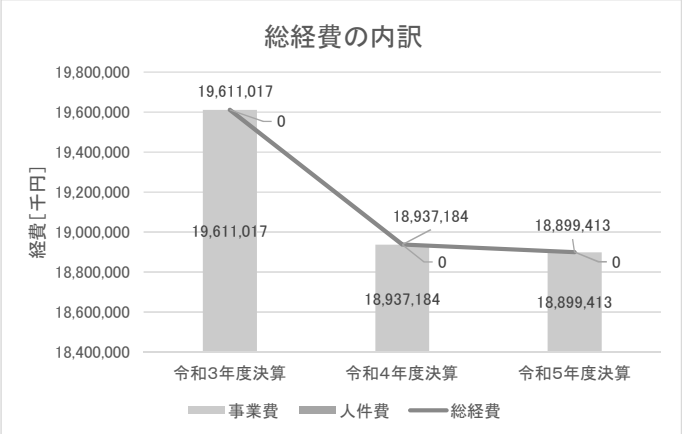
（１）事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	地方財政法						
事業目的	借入れた市債について、償還表に基づき償還する。					分野別計画	
具体的な事業内容	借入れた市債について、償還表に基づき償還する。						

（２）１年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区　分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a　事業費（予算現額・支出済額）	19,611,017	18,937,184	18,899,413	18,899,513	千円
b　人件費	0	0	0	0	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a　＋　b）	19,611,017	18,937,184	18,899,413	18,899,513	千円

（３）活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和３年度の活動実績	令和４年度の活動実績	令和５年度の活動実績
元金の償還を行った。 定時償還分：15,625,927千円 借換分：3,985,090千円 （同日付で同額を借入）	元金の償還を行った。 定時償還分：16,529,816千円 借換分：2,407,368千円 （同日付で同額を借入）	元金の償還を行った。 定時償還分：17,041,494千円 借換分：1,857,919千円 （同日付で同額を借入）

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	償還スケジュール（新規借入から10年後に借換）に基づき、借換額が年度ごとに変動している。
今後の事業の方向性	償還表に基づき市債の定時償還の元金を償還するためには必要な事業であり今後も継続していく。

令和６年度　事務事業等の総点検

その他事業	会計	特別会計　公債管理	款	1	項	1	目	2	説明資料	3	項目番号	2

事務事業名	利子	所管部課名	財務部 財務課

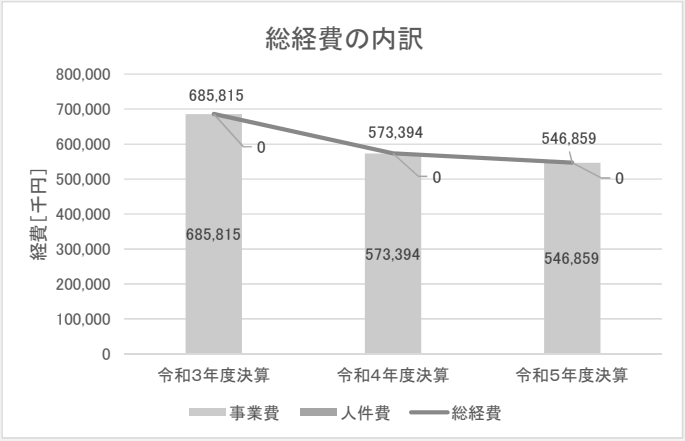
（１）事務事業の概要

実施分類	直営	財源構成	市単	受益者負担	なし	事業終了の見込	未定
分類	法律や政令で実施内容や実施方法が具体的に規定されている業務						
根拠法令	地方財政法						
事業目的	借入れた市債について、償還表に基づき償還する。					分野別計画	
具体的な事業内容	借入れた市債について、償還表に基づき償還する。						

（２）１年間の本事業執行にかかる経営資源（人件費は、想定人員数と平均給与で試算のため実際の決算額と異なります）

区　分	令和３年度決算	令和４年度決算	令和５年度決算	令和５年度予算	単位
a　事業費（予算現額・支出済額）	685,815	573,394	546,859	547,861	千円
b　人件費	0	0	0	0	千円
正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	人
再任用職員（短時間を含む）	0.0	0.0	0.0	0.0	人
会計年度任用職員（フルタイム、パートタイム）	0	0	0	0	千円
総経費（a　＋　b）	685,815	573,394	546,859	547,861	千円

（３）活動実績と年度ごとの推移（【総経費の内訳】）



令和３年度の活動実績	令和４年度の活動実績	令和５年度の活動実績
利子の償還を行った。	利子の償還を行った。	利子の償還を行った。

年度ごとの推移の分析（【総経費の内訳】の増減理由等）	高利率で借入れた市債の償還終了により利率が下がったため、利子償還額が減少した。
今後の事業の方向性	償還表に基づき市債の定時償還の利子を償還するためには必要な事業であり今後も継続していく。